

Y27c 一緒に宇宙探検をしよう ― 男女共同参画委員会の取り組み

日本天文学会男女共同参画委員会、黒田武彦、林左絵子、富田晃彦、望月優子、木村かおる、田代信

日本天文学会男女共同参画委員会として、共同参画・次世代養成を念頭に置きながら、学校教育ばかりでなく社会教育にも取り組んだ2008年度中の活動を紹介します。世代的に広い範囲に働きかける活動のサンプル作りは、今年度が特にIYAに向けて関心を高める契機でもあるとの認識に基づいている。まず学会内部に向けて、男女共同参画学協会連絡会との連携により、大規模アンケートに協力した。結果の一部が連絡会ウェブページに公開されている。次に対外的な活動・企画としては、外部資金援助を得て、特別講演シリーズを主催・共催することによりパイロット的な企画を行った。そのうちわけは、中学校・高校での出前授業シリーズ、大型研究設備の見学を含む宿泊型学習会、生涯教育施設でのインタラクティブなデモを含む特別講演会などである。女子中高生夏の学校における星空観望会も含めた参加を実現させた。

結果(反応)として、地元でのふだんからの活動があっただけで、一過性の物珍しさやエンターテインメントではなく、確かな関心の向上がはかれる;職業としての天文学者や天文台職員の認知度が増した。また女性研究者の存在について、確実に知ってもらうことができた;その中でも、ビデオ・メッセージによる働きかけが、関心を引くきっかけとなること、専門分野で活躍中のメンバーや協力者の生講演が生きたモデルとして実感を深める上で有効であること、保護者・指導者への働きかけの重要性と有効性を確認できた;といった手応えが得られた。今後の展開として、2008年度は関東圏での活動に限られたが、各都道府県レベルでの展開につなげたい。それはたとえば大学の研究者が地元の科学館などと連携して行っている活動への情報提供・連絡、取り組み事例の紹介などである。さらに天文教育委員会などと協力して、競争資金を獲得する努力を続け、講師派遣などにあてていきたい。